

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	坂町清水線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成27年度～平成33年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定+任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-02 補助	根拠法令・条例等	都市計画法, 土地収用法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷駅を中心とした環状形を連絡する都市計画道路が決定されており、守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び、通学路の安全向上を早期に図るため。	平成27年度新たにひがし野土地区画整理から本町地内の県営アパートまでの事業認可を取得した区間477mについて整備を進める。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び通学路の安全確保し、人の流れや物流にも大きな効果が期待できる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
本事業の区間は、現道と重複する路線である。現道は、守谷小学校の通学路となっているが、住宅地を通る歩道がない狭隘道路で、交通量も多いため危険な状況となっている。そのため早期に整備し、安全を確保する必要がある。 しかし、補助金の内示率が街路事業全体で4割程度と年々厳しい状況にあり、予算の確保が大きな課題である。また、境界等について了解を得られない地権者がいる。	12月～ 用地買収及び物件移転補償 地権者交渉 通年 要望活動協議
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
国及び県への要望。 土地開発公社の活用。 地権者交渉。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	今年度に引き続き、次年度も用地買収を行う。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度の実績（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上，通学路の安全確保のため，今後も，補助金や土地開発公社を活用し，効率的に進める。	3期工区に着手し，一部用地買収を実施。補助金の内示も厳しくなっていることから，土地開発公社を活用して効率的に進めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
整備済道路延長（m）	0.00	0.00	0.00	0.00	477.00
用地買収面積（累計）（㎡）	0.00	580.55	676.46	1,012.98	5,452.35
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	国庫補助金及び土地開発公社を活用し，用地取得の成果が向上している。今後も適宜活用し成果を向上させる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	今後も補助金や土地開発公社を活用して効率的に進める。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	113,112	78,780	75,469	118,000	1,070,000
	国・県支出金	32,493	27,081	30,030	64,900	588,500
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	80,619	51,699	55,289	27,233	481,500
	一般財源	0	0	-9,850	25,867	0
正職員人工数（時間数）		0.00	1,612.00	2,217.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	6,609	9,090	0	0
トータルコスト		113,112	85,389	84,559	118,000	1,070,000

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	みずき野大日線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成27年度～平成33年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定＋任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-04 補助	根拠法令・条例等	都市計画法, 土地収用法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
本市の東西方向を連絡する都市計画道路であり、守谷駅東側の環状線化を進めるとともに、駅周辺に集中する交通を効率的に分散させ、交通の円滑化、利便性及び安全性の向上を図る。	都市計画決定されたみずき野大日線（全延長2,900m 幅員16m）で、平成27年度に事業認可取得した守谷駅周辺区画整理事業区域境界から坂町清水線の交差点部の464m区間について整備を進める。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅周辺における円滑な交通の確保及び通学路の安全確保する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
守谷駅と広域的な避難所である守谷小学校をつなぐ主要なアクセス道路であり、また、沿線現道が、守谷小学校への通学路となっているにも関わらず、歩道がなく大変危険な状況であるために、防災上、安全上においても早期の整備が求められている。 補助金の内示率が街路事業全体で4割程度と年々厳しい状況にあり、予算の確保が大きな課題である。	通年 要望活動
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
国及び県への要望。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	事業認可スケジュールに併せ、引き続き補助要望を実施していく必要がある。

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度 of 取組（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上，通学路の安全確保のため，今後も，補助金や土地開発公社を活用し，効率的に進める。	用地買収のための不動産鑑定評価や一部物件補償調査等を実施した。しかし，都市計画事業に対する補助採択が極めて低く，用地買収までは行えなかった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
整備済道路延長（m）	0.00	0.00	0.00	0.00	464.00
用地買収済面積（累計）（㎡）	0.00	290.85	290.85	1,232.83	6,532.04
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	坂町清水線を優先的に進めることから，補償調査等のみの実施となっている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	補助金採択が厳しくなっていることから，坂町清水線を優先的に進めることとし，縮小方向へシフトする。今後も補助金の動向に留意し，引き続き要望していく。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	7,830	14,764	37,942	0	140,000
	国・県支出金	4,306	0	9,850	0	77,000
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,524	14,764	28,092	0	63,000
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	797.00	540.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	3,268	2,214	0	0
トータルコスト		7,830	18,032	40,156	0	140,000

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	新守谷駅自由通路線整備事業	担当課	建設課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成28年度～平成30年度
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定+任意
	基本事業	都市計画道路の整備	市民協働	
予算科目コード	01-080405-06 補助	根拠法令・条例等	都市計画法・土地収用法	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>新守谷駅は、西側からのアクセスしかできず、東側に居住する地域住民にとって駅の利便性が悪い状況であり、東西の連携強化が求められている。また、隣接する小学校の児童は、歩道のない市道や踏切を通して通学しており、非常に危険なことから通学路交通安全プログラムに新守谷自由通路線の整備が位置づけられている。</p>	<p>国庫補助金を有効に活用し、つくばみらい市、学校法人との3者の負担協定により整備する。工事規模、工事の性質から3年間の継続費により早期の供用を目指す。鉄道を跨ぐ工事であることから関東鉄道(株)への工事委託となる。</p> <p>自由通路の概要は、延長90m、幅員3.5m。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>新守谷駅東側に居住する地域住民の利便性の向上、東西地区の連携強化及び通学路の安全確保。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市内の移動がスムーズにできるよう、道路ネットワークとして計画されている都市計画道路の整備を進める。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>実施設計が完了し、事業費が増加していることから、この増額分に対し国庫補助金を導入する必要性が生じている。</p> <p>供用開始予定が平成30年度末になることから、遅延の無いよう工程管理を実施する必要がある。</p> <p>また、3者負担による事業であることか、工事の進捗等情報共有を図る必要がある。</p>	<p>H29年10月～12月 国への要望</p> <p>H29年12月～H31年3月 工程管理協議</p> <p>H31年3月 供用開始</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>増額分の補助金導入について県及び国への要望する。</p> <p>定例工程会議を開催、つくばみらい市及び開智学園にも参加を依頼し、情報共有と工程の管理を徹底する。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p>■増加</p> <p>□維持</p> <p>□削減</p>	<p>実施設計が完了し、鉄道敷地内の工事となることから、工法等が制限され工事費が増額となったことによる。</p>

H28年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H29年度の振り返り）	
H28年度の評価（課題）	H29年度を取組（評価、課題への対応）
交通の利便性の向上を図るとともに、通学路の安全確保のため、早期の供用開始を目指し事業を進める。	関東鉄道と協定を締結、橋桁の工場制作や下部工の基礎杭工等が着手され、成果はあがっている。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
整備率（事業費換算）（%）	0.00	0.00	26.08	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	補助金を活用した3者（開智学園、つくばみらい市、守谷市）負担による事業で、合同による定期協議を実施し、成果が向上している。鉄道を跨ぐ工事のため管理者（関東鉄道(株)）への委託工事となるが今後も協議を密に実施し成果の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	全体の整備スケジュールに沿って進捗しており、今後も早期の供用開始を目指し事業を進める。				

コストの推移						
項目		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	H31年度見込
事業費	計	0	0	133,660	164,200	0
	国・県支出金	0	0	64,900	55,000	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	68,760	109,200	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,330.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	5,453	0	0
トータルコスト		0	0	139,113	164,200	0